

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 5日

事業所名 ハッピーテラス門真教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100.0%	0.0%	人数や内容によって複数の部屋を使用しています。	ボール遊びなど室内では危険を伴う活動は室外で行うなど、柔軟に対応しています。
	2	職員の配置数は適切である	100.0%	0.0%	十分に支援できる人数を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100.0%	0.0%		トイレや廊下など車椅子では不便な状態ですが、必要に応じてできる範囲で対応していきたいと思います。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100.0%	0.0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100.0%	0.0%	保護者のご意見を大切に常に改善に努めたいと思っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100.0%	0.0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.0%	100.0%		可能であれば、相談支援事業所や学校など連携すべき機関からの評価を受けたいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100.0%	0.0%	原則月1回の研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	面談での情報や子どもの事業所での様子から、支援計画を立てています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	100.0%	0.0%	定期的にアセスメントツールを使ってアセスメントをしています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9.1%	0.0%	週1回会議を行い、日々の内容を話し合っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100.0%	0.0%	来所する子どもに合わせて、その日の活動を考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80.0%	20.0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100.0%	0.0%	月4回個別支援を行い、集団支援ではできない部分を補っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをして、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100.0%	0.0%	全員そろってミーティングを行い、活動内容や担当について具体的に話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをして、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100.0%	0.0%	就業時間が一律でないため、ノートでの情報共有も行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100.0%	0.0%	子どもの目標に沿って日々の記録をつけています。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100.0%	0.0%	モニタリング時は子どものできるようになったこと、課題の両方を伝えています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	100.0%	0.0%		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100.0%	0.0%	管理者や社員など、日々の子どもの様子を見ている職員が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	60.0%	40.0%	トラブル発生時は学校と連絡を取り合いながら、状況の把握や解決に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	20.0%	80.0%		現在医療的ケアが必要なお子さんはいませんが、受け入れた際は主治医と連携を取っていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80.0%	20.0%	児童発達支援事業所と就学前の様子について情報共有しています。	保育所等と連絡を取り、未就学時の様子も把握できるようにしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	80.0%	20.0%		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	80.0%	20.0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	20.0%	80.0%		交流イベントの有無を確認し、できる範囲で一緒に活動できる機会を作りたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100.0%	0.0%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100.0%	0.0%	送迎時に事業所や家庭での子どもの様子を共有するなどしています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100.0%	0.0%	親の会を定期的に行い、ワークなどをっています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100.0%	0.0%	体験・契約時にわかりやすく説明できるよう心がけています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100.0%	0.0%	個別支援計画作成の際だけでなく、保護者の希望に沿って面談を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100.0%	0.0%	1学期に1回親の会を開き、保護者同士が話せる機会を設けています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100.0%	0.0%	苦情を受けた際は職員間で共有し、対応やその後について保護者に伝えています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100.0%	0.0%	月に1回、活動の様子や翌月の情報を通信でお伝えしています。	
	35	個人情報に十分注意している	100.0%	0.0%	個人情報に関するファイルは鍵付きの棚に保管しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	100.0%	0.0%	環境の調整や視覚的な情報を用いるなどの工夫しています。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20.0%	80.0%		イベントを開く際に近隣の方を招くなどして、地域の方に事業所を知ってもらう機会を作れたらと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100.0%	0.0%	研修時に感染症対策などを取り入れています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100.0%	0.0%	月に1回、不審者・地震・火災訓練を順に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100.0%	0.0%	虐待防止委員会を設置し、研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100.0%	0.0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100.0%	0.0%	料理イベント等のために、アレルギーについて把握・対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100.0%	0.0%		